

■(平)北条政子(尼將軍)政治家。源頼朝の妻。夫亡き後に力を発揮し鎌倉幕府を確立。日本史上最強の女性支配者。

ほうじょうまさこ
藤原基衡没・1157＝

生。伊豆の武士，_北条時政の娘。

平治の乱・・1159＝ 2歳：
・・・・・1160＝ 3歳：

_頼朝が配流されて，父時政の監視下に置かれることになり，

源頼政内昇殿1166＝ 9歳：
清盛太政大臣1167＝10歳：

法然浄土宗始1175＝18歳：
・・・・・1176＝19歳：

この頃，_源頼朝の妻となる。

鹿ヶ谷事件・1177＝20歳：
・・・・・1178＝21歳：

長女誕生。

源氏一斉蜂起1180＝23歳：_頼朝が挙兵した際，一時伊豆山に潜んでいたが，頼朝に迎えられて鎌倉に入った。

・・・・・1182＝25歳：長男頼家誕生。

・・・・・1184＝27歳：
平氏滅亡・・1185＝28歳：

次女誕生。

奥州藤原滅亡1189＝32歳：

鎌倉幕府始・1192＝35歳：次男実朝誕生。
・・・・・1193＝36歳：

東大寺再建完1195＝38歳：頼朝が東大寺供養に上洛した際，子どもたちと同行し，京都で丹後局(高階栄子)らと対面。
丹後局は後白河法皇の寵を受け，法皇の没後も隠然たる勢力をもっていた。頼朝夫妻が局と対面したのは，
長女大姫を後鳥羽天皇に入内させる計画を進めるためであったが，

・・・・・1197＝40歳：

大姫が没し，計画は実現なかった。

源頼朝没・・1199＝42歳：*頼朝の死により出家したが，同年には次女三幡も病没，悲しみが続いた。頼朝の跡を頼家が継いだが，頼家の外家である比企氏が権力を狙ったのに対し(危機①)，頼家がみずから訴訟を裁くのを止め，北条時政・義時父子，大江広元，比企能員ら13名の有力御家人の合議によることとし，頼家の独裁を抑えた。

・・・・・1202＝45歳：

執権政治始・1203＝46歳：*頼家が重病になると，関西38ヵ国地頭職を実朝に，関東28ヵ国地頭職と惣守護職を頼家の長男一幡に分与する案を立て，一幡の外祖父比企能員がこれに不満を示すと，時政とともに比企氏を滅ぼし，一幡を殺し，頼家を出家させて伊豆の修禪寺に幽閉し，実朝を將軍に擁立し，時政は執権となった(危機②)。この結果，將軍は完全に実力を失い，北条氏が実権を握った。

新古今集・・1205＝48歳：_時政が後妻牧の方(政子の継母)と謀って実朝を廃し，女婿の平賀朝雅を將軍に立てようとしたのに対し(危機③)，政子は弟の義時とともに実朝を守り，父を伊豆に隠退させた。

・・・・・1211＝54歳：

北条頼朝確立1213＝56歳：_<和田合戦>を乗り切り，

・・・・・1218＝61歳：熊野詣に赴いて都に立ち寄り，後鳥羽上皇の乳母として権勢を振るっていた卿局(藤原兼子)と会見，嗣子のない実朝の後継者として，上皇の皇子頼仁親王を迎える内約を結んだ。京都滞在中，兼子の計らいで従三位に叙せられ，やがて従二位に昇った。

源実朝暗殺・1219＝62歳：_実朝が頼家の遺子公暁に殺されると(危機⑤)，幕府はさきの内約に基づき，後鳥羽上皇の皇子を鎌倉に迎えることを望んだが，上皇はこれを許さず，かわりに摂関家から，頼朝の遠縁のわずか2つの藤原頼経が鎌倉に下ることになって，自らが実質上の將軍(鎌倉殿)となり，俗に“尼將軍”と呼ばれた。

愚管抄・・・1220＝63歳：

承久の乱・・1221＝64歳：*後鳥羽上皇が討幕の兵を挙げると(<承久の乱>・危機⑥)，御家人たちに幕府の恩を説いて奮起を促し，都に攻め上らせ，勝利を収めた。

親鸞真宗始・1224＝67歳：_義時が没し，その子泰時が執権となると，泰時の継母伊賀氏は泰時を退け，子の政村を執権，女婿の一条実雅を將軍にしようとしたが(危機⑦)，この陰謀を抑えて泰時を救い，執権政治を安泰ならしめて，

北条政子没・1225＝68歳：_没した。